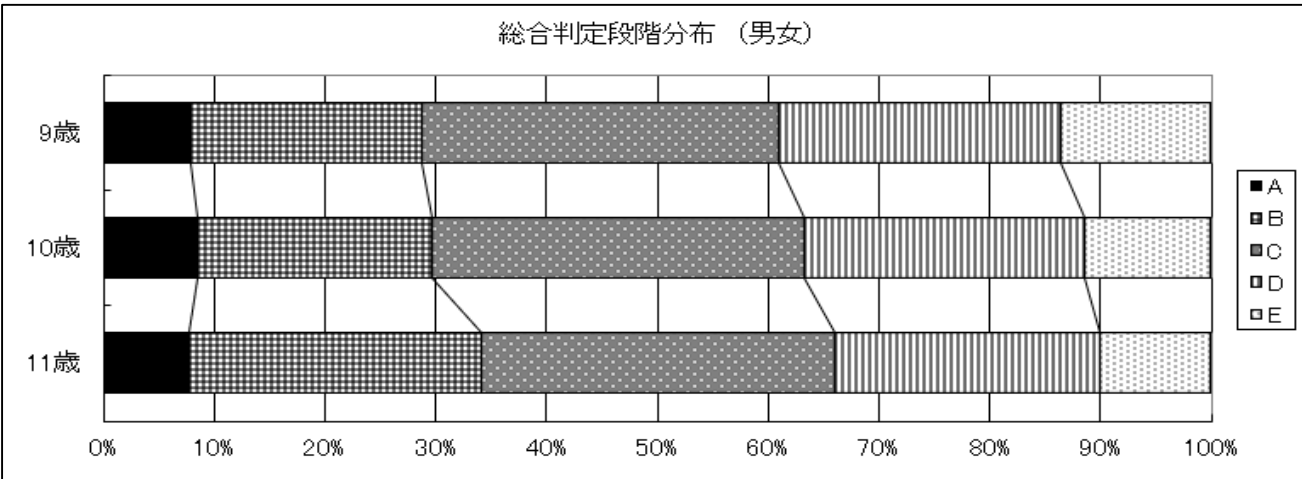
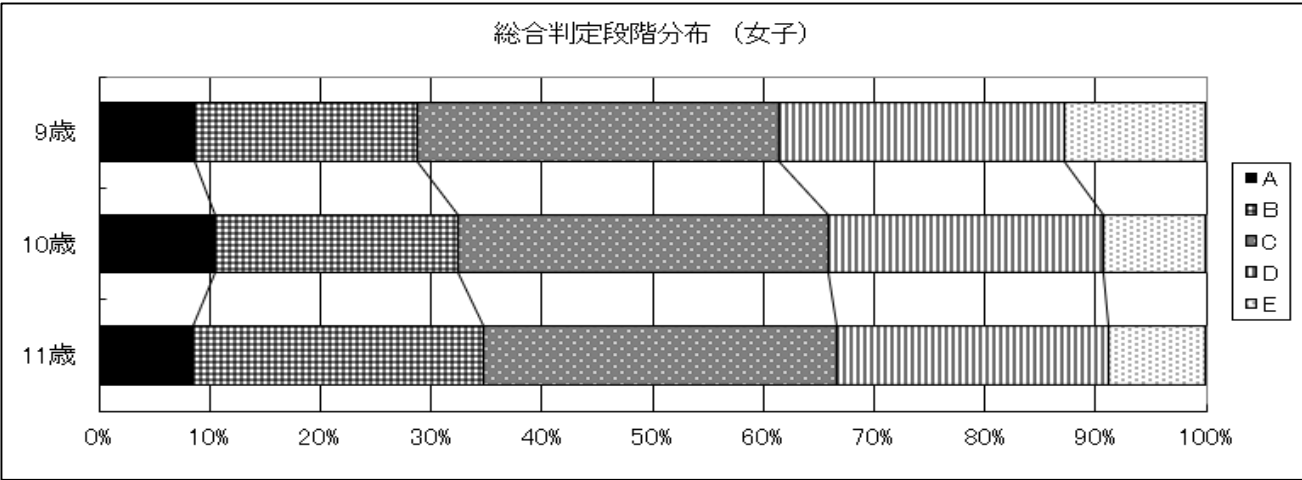
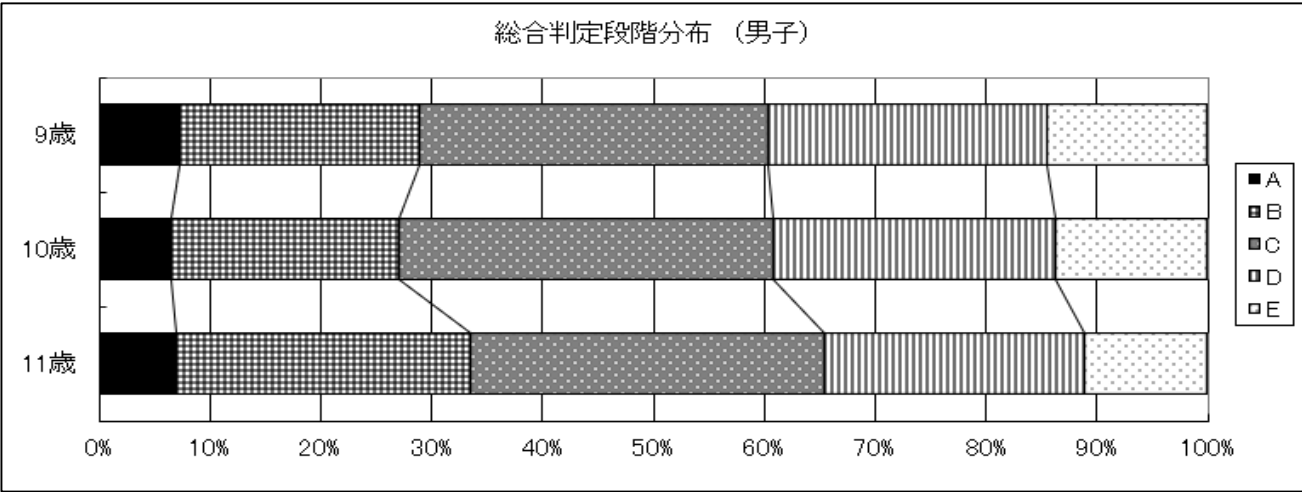


(2) 総合評価の割合

小学校

11 歳で A・B 評価の児童の割合が多い

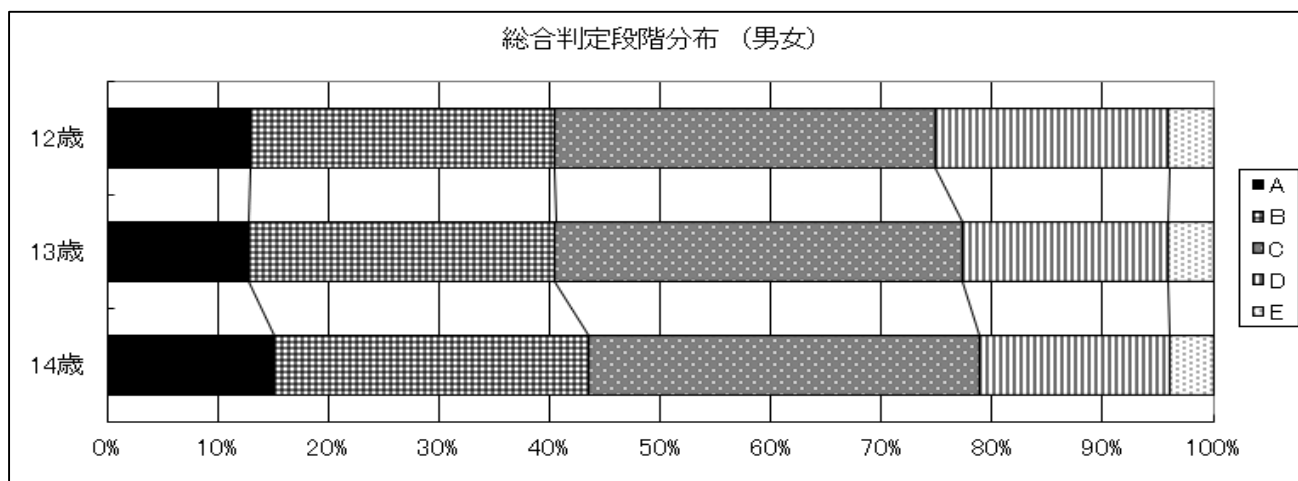
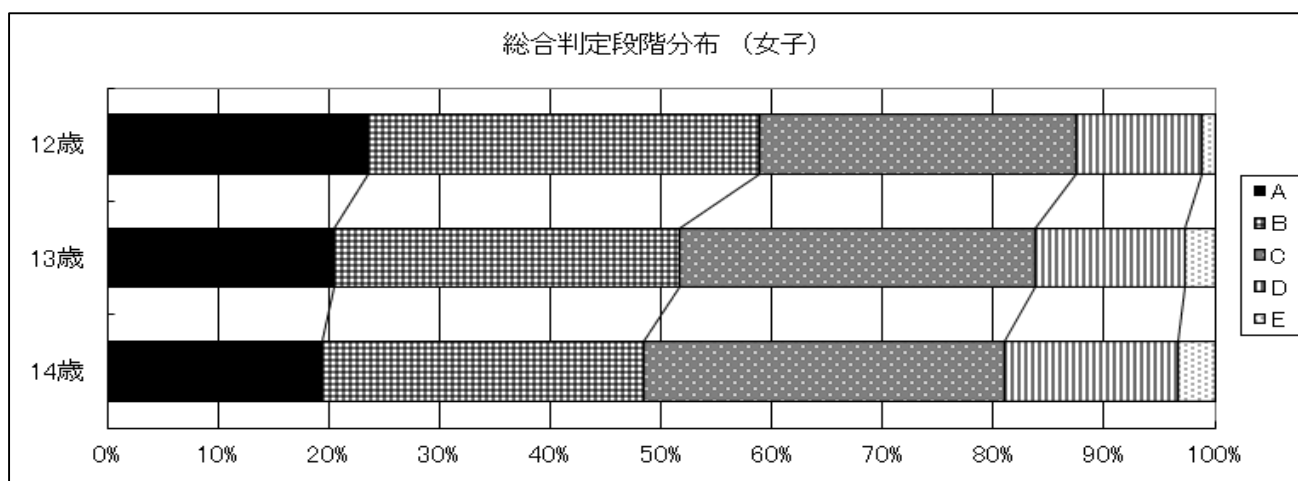
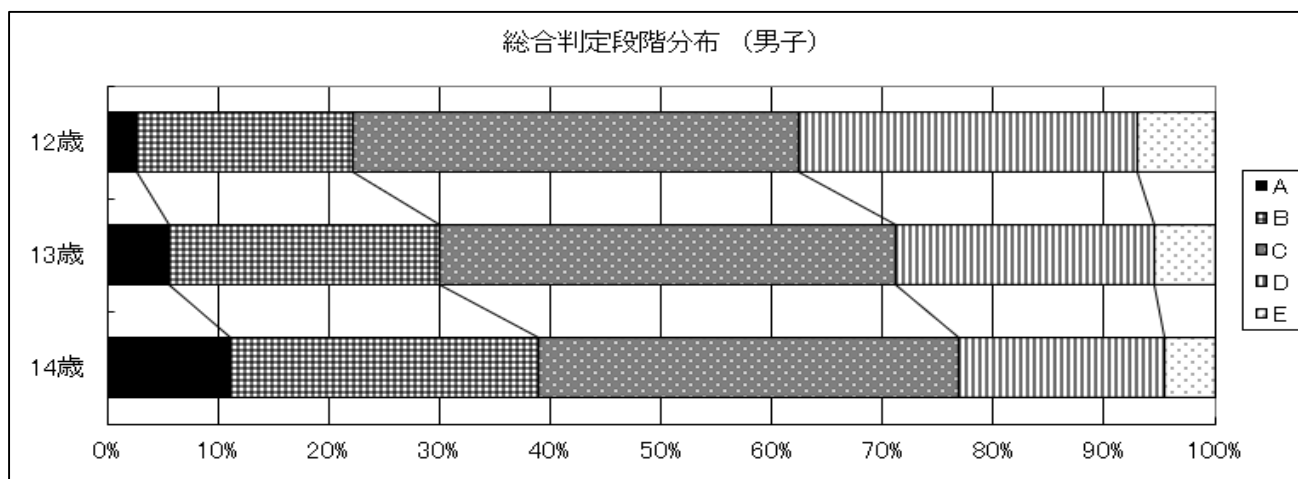
9 歳、10 歳では、男女共に A・B 評価の割合より、D・E 評価の児童の割合が多いが、11 歳では A・B 評価の割合が多くなっており、女子では、D・E 評価の割合を上回った。



中学校

女子は A・B 評価の割合が D・E 評価の割合を上回る

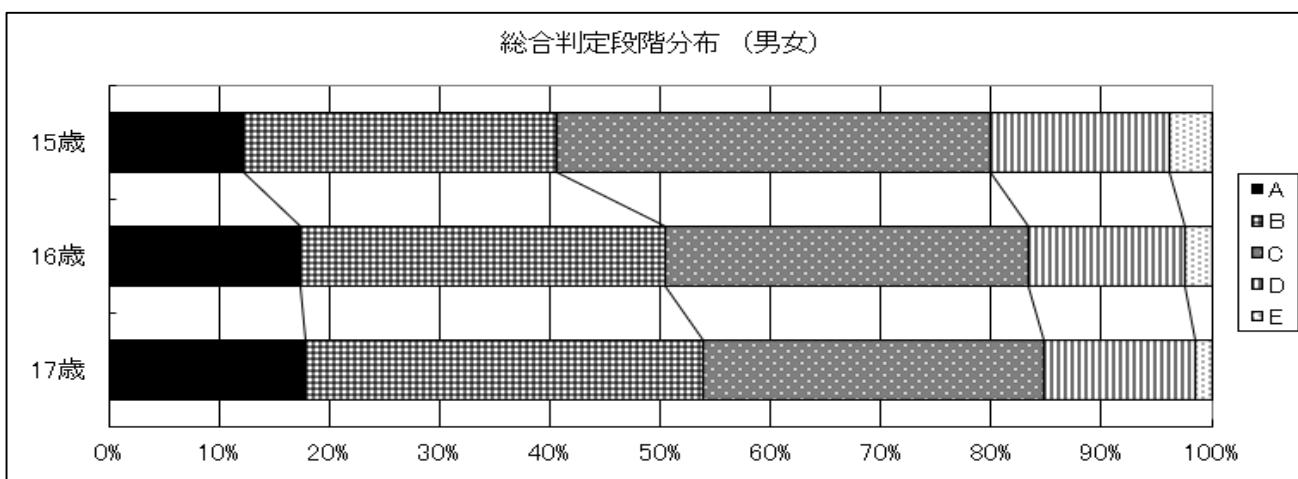
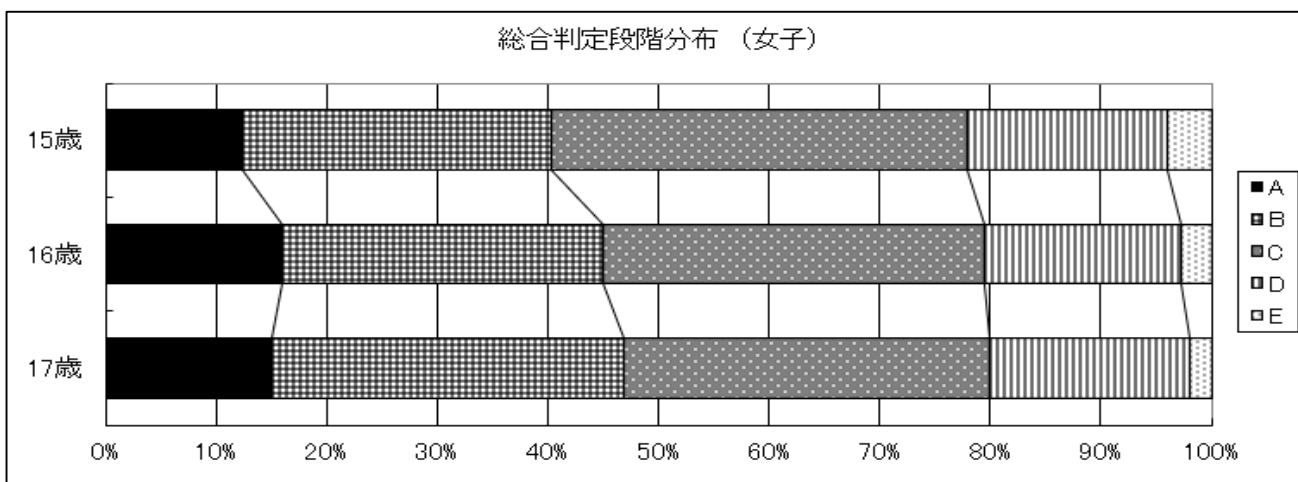
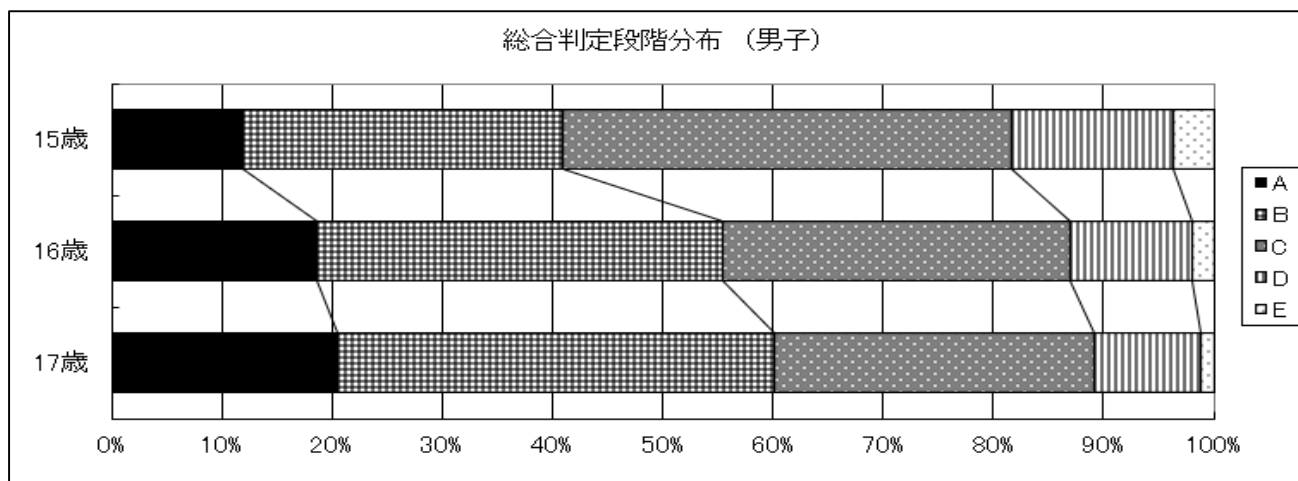
女子は、全ての年齢で A・B 評価の割合が D・E 評価の割合を上回ったが、A・B 評価の割合は減少していていることがわかる。逆に、男子は A・B 評価の割合が増加する



③高等学校(全日制)

男女共に A・B 評価の割合が D・E 評価の割合を上回る

全ての年齢で、男女ともに A・B 評価の生徒の割合が D・E 評価の生徒の割合を上回った。また、男女共に年齢が上がるにつれて、D・E 評価の割合が減少していることがわかる。



高等学校(定時制)

17歳男子で A・B 評価の生徒が最も多い

17歳男子で、A・B 評価の生徒の割合が最も多い結果となった。しかし、全ての年齢において、男女共に D・E 評価の生徒の割合が高い結果となった。

